

新型コロナウイルス対応ガイドライン（手配旅行）

株式会社エクセル エクセルトラベル

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」（2020年5月4日）においては、「今後、感染拡大の予防と社会経済活動の両立を図っていくに当たっては、特に事業者において提供するサービスの場面ごとに具体的な感染予防を検討し、実践することが必要になる。社会にはさまざまな業種等が存在し、感染リスクはそれぞれ異なることから業界団体等が主体となり、また、同業種だけでなく他業種の好事例等の共有なども含め、業種ごとに感染拡大を予防するガイドライン等を作成し、業界をあげてこれを普及し、現場において、試行錯誤をしながら、また創意工夫をしながら実践していただくことを強く求めたい。」とされたところである。

<宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン基本抜粋>

- ◆従業員と宿泊客及び宿泊同士の接触をできるだけ避け、対人距離を確保（できるだけ2mを目安に）する
- ◆感染防止のための宿泊客の整理（チェックイン・アウト時に密にならないように対応）
- ◆ロビー、大浴場、食事処・レストラン等、多くの宿泊客が同時に利用する場所での感染防止
- ◆入口及び施設内の手指の消毒設備の設置
- ◆マスクの着用（従業員及び宿泊者・入館者に対する周知）
- ◆施設及び客室の換気
- ◆施設内の定期的な消毒
- ◆宿泊客への定期的な手洗い・消毒の要請
- ◆従業員の毎日の体温測定。健康チェック

<貸切バスにおける新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン基本抜粋>

- ◆ドアノブ、電気のスイッチ、階段の手すり、ゴミ箱、共有のテーブル、いすなどの共有設備について、洗浄・消毒を行う。
- ◆車両点検用工具などの共有器具については、工具等を使用した際は、こまめに手洗い手指消毒を行うよう努める。
- ◆設備の器具の消毒は、次亜塩素酸ナトリウム溶液やエアノールなど、当該設備・器具に最適な消毒液を用いる
- ◆ゴミはこまめに回収し、鼻水や唾液などがついたゴミがある場合はビニール袋に密閉する。
- ◆運転者が疲労、疾病等を報告させる際には、体温測定の結果を報告させることによる体調の確認を行うこと等により、健康状態を確実に把握するとともに発熱やせき等の症状があることが確認された場合には、自宅待機をする。
- ◆乗務員は、運行中は、マスクの着用を徹底する。
- ◆エアコンによる外気導入や窓開け等の社内換気を行うとともに、車内換気を行っていることを表示する等により、乗客が安心して利用することができるように配慮する。
- ◆乗客の降車後に、窓を開けて換気する等の車内換気に努める。
- ◆乗務員に対し、乗務中に発熱や体調不良を認めた時は運行管理者に連絡をいれることを徹底するとともに、乗務を中止させる。
- ◆バス車内に可能な限り手指消毒液を装備し、お客様が乗車する際に手指消毒をお願いする。
- ◆定員上、後部座席に着席可能である場合には、利用者に対して可能な限り後部座席に乗車するよう理解を求めるように取り組む。

◎弊社としましては、手配するサービス提供事業者が適切な感染防止対策を取っているか確認しています。